



Until we are all equal



人生を

変えよう2024

バングラデシュ、エクアドル、ウ  
ガンダにおけるプラン・インター  
ナショナルのプラン・スポン  
サーシップ・プログラムの成果

要約



# 目次

はじめに	1
「人生を変えよう2024」の調査結果	4
結論	9
提言とプランの対応	10



表紙写真：  
祭りに参加する幼い女の子、  
ポリバル州、エクアドル

©Plan International

家で学習キットを使って  
勉強する幼い女の子、ウガンダ

© Plan International



女の子たち、バングラデシュ  
© Plan International

## はじめに

プラン・スポンサーシップは、チャイルドやその家族、コミュニティにとって有意義で持続的な変化を生み出すのに役立つ、広く採用されている開発アプローチである<sup>1</sup>。

プラン・スポンサーシップは、プラン・インターナショナルの、チャイルドとそのコミュニティでの活動の要である。プラン・スポンサーシップを通じて、プラン・インターナショナルは世界44カ国で100万人超のチャイルドとともに活動している。私たちは、プラン・スポンサーシップにコミュニティ単位のアプローチを採用し、チャイルドやその家族と長期的な関係を築くことで、地域のニーズに合わせた耐久性のある持続可能な改善を実現している。

プラン・インターナショナルが活動しているコミュニティの子どもたちは皆、個別のスポンサーの有無にかかわらず、この支援スキームの恩恵を受けている。このプログラムは、教育や保健医療といった必須サービスへの万人のアクセス向上を目指している。世界戦略「All Girls Standing Strong Creating Global Change」<sup>2</sup>に沿った女の子の権利とジェンダー平等への支援と同様に、脆弱で疎外されたコミュニティが優先されている。

プラン・インターナショナルは、プログラムと質の継続的な改善に努めている。このため、プラン・スポンサーシップがチャイルドやその家族、コミュニティに与える影響について、行動指向の調査シリーズ「人生を変えよう」を展開している。

プラン・インターナショナルの「人生を変えよう2024」調査は、チャイルド・スポンサーシップが、チャイルドやその家族、コミュニティの生活に具体的に前向きな変化をもたらしていることを示している。この調査は、私たちや・スポンサーシップを実施する他団体に重要な示唆を与えている。

**01** 本書は、プラン・インターナショナルがプラン・スポンサーシップによって、どのように長期的な関係を築き、プログラムを確立し、チャイルドやコミュニティに影響を与えることができるかを示している。

**02** 本書は、プラン・インターナショナルがプラン・スポンサーシップの取り組みで改善できる点を明確にし、主要な行動ポイントを提示している。

プラン・インターナショナルは、スポンサーシップ・スキームの刷新を目指す「Next Genスポンサーシップ」構想の一環として、調査から得られた知見を変更に役立てることに尽力している。

### Next Genスポンサーシップ

スポンサーシップは、プラン・インターナショナルの中核をなすものであり、私たちが女の子やユースに手を差し伸べ、影響を与えるための重要な要素である。世界が変化し続けるなか、2億人の女の子に支援の手を差し伸べるという私たちの大望を達成するため、スポンサーシップ活動の考え方や実施方法を見直す必要があることは明らかだ。

Next Genスポンサーシップは、プランのスポンサーシップを刷新するために2024年から開始された。既存の最良のものを維持しながら、それを土台に、新たな方法で新たなスポンサーに訴えるよう構築と拡大を行う。スポンサーシップ・モデルを一新することで、資金調達の新たな道を探り、最前線の活動をより効率的にし、世界中の女の子やユースにより大きな影響を与えることができるだろう。

1. Wydick, B., Glewwe, P., Rutledge, L. (2013). "Does child sponsorship Work? A Six-Country Study of Impacts on Adult Life Outcomes", *Journal of Political Economy*, 212: 393-436.; Wydick, B., Glewwe, P., Rutledge, L. (2017). "Does child sponsorship Pay off in Adulthood? An International Study of Impacts on Income and Wealth", *The World Bank Economic Review*, 31 (2): 434-458.

2. Plan International (2024). "Our strategy", <https://plan-international.org/organisation/strategy/>

## 人生を変えよう スポンサーシップ調査シリーズ

### プラン・スポンサーシップの効果に関する証拠を得るための学びの旅

プラン・インターナショナルは、プラン・スポンサーシップの効果を明らかにするため、多くの調査を実施してきた。2018年、プランはオーストラリアのRMIT大学とともに学びの旅に出た。重要な点は、スポンサーシップの効果を理解するための最も効果的な方法を特定することだった。人生を変える スポンサーシップ調査シリーズには、RMITが主導した以下の調査が含まれ、スポンサーシップの効果について、異なった、しかし補完的な洞察を提供した。

#### 2019 An analysis of Plan International's Child Sponsorship data<sup>3</sup>

この量的調査では、プラン・インターナショナルのプラン・スポンサーシップのデータと、幸福感に関する追加アンケートを使用した。この調査では、プラン・スポンサーシップがチャイルドに与える影響について、重要な証拠が得られた。例えば、スポンサーシップが出席率や出生登録数の増加に役立っており、年下のチャイルドの方が年上のチャイルドよりも、スポンサーシップ活動からより多くの恩恵を受けていることが示された。この分析は重要な洞察を導いたが、データはチャイルドになった子どもに関する情報のみを提供し、そうでない子どもやプラン・インターナショナルが支援するコミュニティの他のメンバーに関する情報はなかった。

#### 2022 Snapshot of the Child Sponsorship Data

プラン・インターナショナルのプラン・スポンサーシップ・データセットを用いて、この調査は、2008～2021年のプラン・インターナショナルの世界および地域ごとのスポンサーシップの活動範囲に関する洞察を提供した。その目的は、活動の幅広さについてのわかりやすい概観を提供するとともに、開発の成果が時間、地域、ジェンダー、そして個別のスポンサーを持つ子どもと持たない子どもとの間で異なるかどうか、またどう異なるかを示す高度な示唆を提供することであった。

#### 2023 Secondary data analysis on the impact of child sponsorship

RMITは、バングラデシュ、エクアドル、ウガンダについて、プラン・インターナショナルのチャイルドのデータとその他の二次データの厳密な定量分析を行った<sup>4</sup>。主な焦点は、(i)プラン・インターナショナルのデータベースにあるチャイルドにとっての開発成果が、時間の経過とともにどのように変化したかについての調査、(ii)プラン・インターナショナルの活動地域における開発成果と、プラン・インターナショナルの活動していない地域の成果の比較である。この取り組みは有望であったが、調査チームは、支援を受けたコミュニティと受けていないコミュニティを比較した一次データが、さらに重要な洞察を生み出すと考えた。

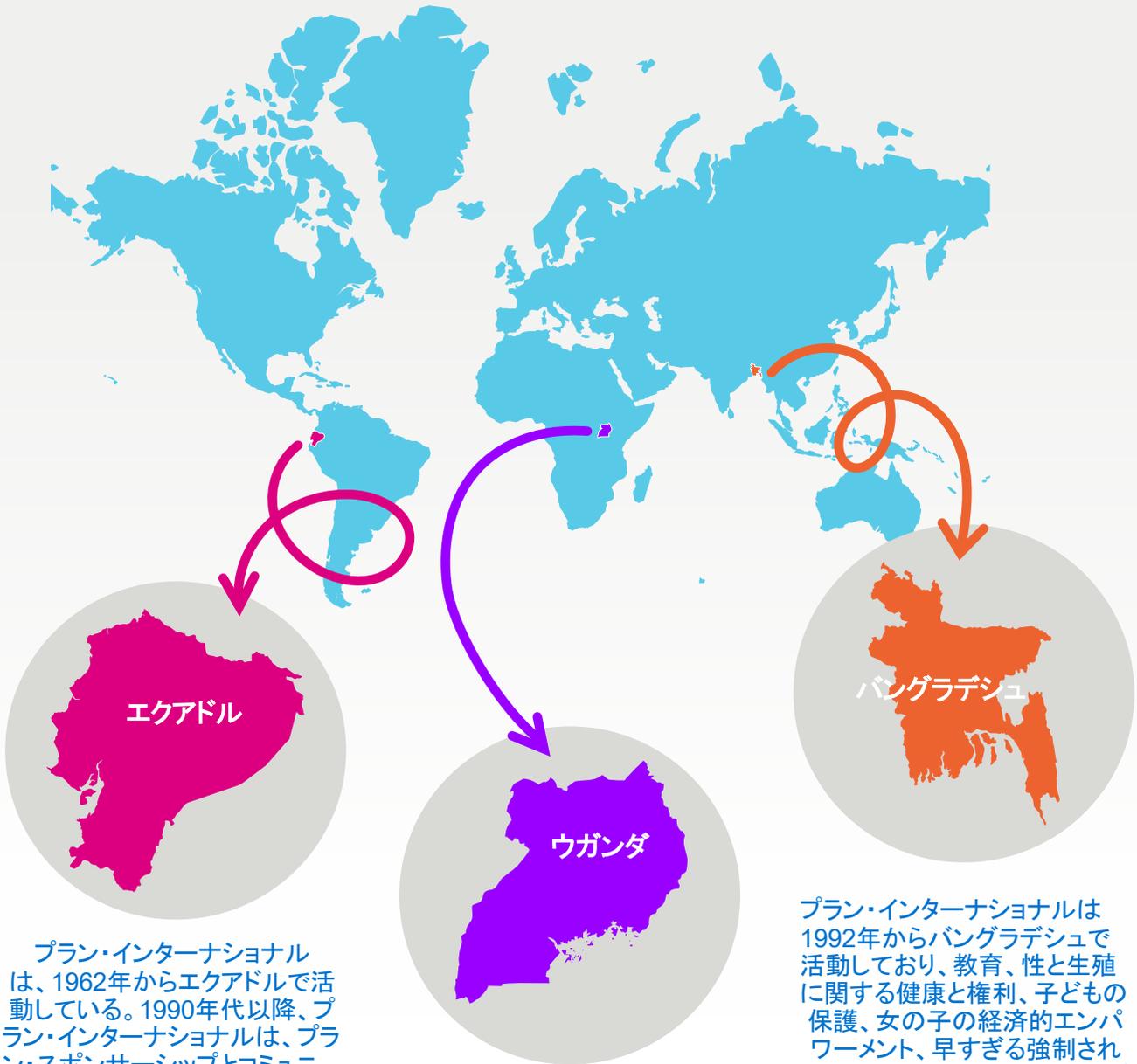
#### 2024 バングラデシュ、エクアドル、ウガンダにおけるプラン・インターナショナルのプラン・スポンサーシップ・プログラムの成果<sup>5</sup>

プラン・スポンサーシップの効果についてさらなる洞察を得るため、RMITはバングラデシュ、エクアドル、ウガンダで新たに一次データを収集した。プラン・インターナショナルのコミュニティで約400件、プランが存在しないコミュニティでさらに200件の調査をそれぞれ実施した。質的な半構造化インタビューも、3カ国で合計145人の参加者を対象に実施した。データは、チャイルド、その家族、元チャイルドの子ども、コミュニティ・リーダーから収集された。データが収集されたのは、プラン・インターナショナルのプログラムの開始後であったが、プラン・スポンサーシップ・プログラムの影響について豊かな洞察が得られた。

本要約は、バングラデシュ、エクアドル、ウガンダでのデータ収集に基づく「人生を変えよう2024年」調査から得られた調査結果をまとめたものである。

3. Plan International (2019). "Changing Lives: An analysis of Plan International's Child Sponsorship Data", [https://www.plan-international.org/uploads/2021/12/glo-sponsorship\\_study-final-eng-jun19.pdf](https://www.plan-international.org/uploads/2021/12/glo-sponsorship_study-final-eng-jun19.pdf)
4. 使用したデータソースは、国際食料政策研究所のバングラデシュ統合家計調査(国内で最も包括的な、全国を代表する地方世帯パネル調査)、IPUMS Internationalのエクアドル国勢調査データ(1962年、1974年、1982年、1990年、2001年、2010年)、ウガンダ全国パネル調査(2009/10年、2010/11年、2011/12年、2013/14年、2015/16年、2018/19年に実施された全国を代表する調査)である。
5. 首都ダッカ(バングラデシュ)の都市部スラム・コミュニティ、シエラ地方中央部(エクアドル)の農村部、カムリ地区(ウガンダ)の農村部および都市部で調査が行われた。

## バングラデシュ、ウガンダ、エクアドルにおけるプラン・インターナショナルのプラン・スポンサーシップ活動



プラン・インターナショナルは、1962年からエクアドルで活動している。1990年代以降、プラン・インターナショナルは、プラン・スポンサーシップとコミュニティ開発に総合的な取り組みを採用し、より子どもを中心に据えた活動を行うようになった。子どもたちと直接関わりを持ち、教師、コミュニティ・リーダー、保護者らと協力して、子どもたちがコミュニティや環境において指導的な役割を果たすようにした。

プラン・インターナショナルは1992年、ルウェロ地区のゲリラ戦の影響を受けた子どものニーズに応えるため、ウガンダでの活動を開始した。現在の重点分野と優先事項には、能力開発とエンパワーメント、幼児ケアと初等教育、妊産婦・新生児・子どもの健康の改善とユースの性と生殖に関する健康の改善、災害への対応とウガンダへの難民流入への対応などがある。

プラン・インターナショナルは1992年からバングラデシュで活動しており、教育、性と生殖に関する健康と権利、子どもの保護、女の子の経済的エンパワーメント、早すぎる強制された結婚(CEFMU)の防止等のプログラムを通じて、ジェンダー平等と包摂の改善に焦点を当てている。

# 人生を変えよう2024の調査結果

人生を変えよう2024の一次データ分析から得た知見は、プラン・スポンサーシップが子どもとそのコミュニティの生活に大きな変化をもたらしていることを示唆している。

調査は、教育、健康、エンパワーメント、子どもの保護、早すぎる結婚と意図しない妊娠、多面的貧困、コミュニティの結束といった観点から、プラン・スポンサーシップの効果を調べた。



## 教育

調査の結果、プラン・インターナショナルのスポンサーシップ・プログラムに参加している子どもの規則的な出席率は非常に高いことが判明した。2021年には、小学校就学年齢のチャイルドの94%、中学校就学年齢以降のチャイルドの95%が、公式な教育を受けていた。規則的な出席率は、プラン・インターナショナルのコミュニティでの活動期間が長くなるほど向上している。

プラン・インターナショナルのコミュニティ内では、チャイルドである思春期の若者は、そうでない若者に比べて、良い教育成果を収めているという調査結果がある。

プラン・インターナショナルのスポンサーシップ・プログラムが実施されているコミュニティでは、就学率と出席率は男の子に比べて女の子の方が高い。また、これらの地域では、障がいを持つチャイルドは、そうでない子どもに比べて就学率が高く、規則的に学校に通っている。

バングラデシュのプラン・インターナショナルのコミュニティでは、思春期の女の子が規則的に学校に通っている割合は、男の子よりも14%高かった。

バングラデシュのプラン・インターナショナルのコミュニティでは、プラン・インターナショナルが活動していないコミュニティよりも、チャイルドで、障害のある思春期の若者が学校に通っている可能性が19%高かった。少なくとも1つのスポンサーシップ・プログラムに参加している思春期の若者は、就学率が9.5%高く、規則的に学校に通っている可能性が15%高かった。

質的データから、プラン・インターナショナル・バングラデシュとプラン・インターナショナル・ウガンダが提供した資金援助は、思春期の若者を学校に通わせ続けるのに効果的であることが明らかになった。しかし、同時に、資金援助が打ち切られると、彼らは教育を受けなくなる可能性があることも明らかになった。

「もしプランのプログラムに参加していなかったら、私の人生は違っていたでしょう。私は学校に行けなかったのですから。父には私やきょうだいの学費を払うお金がありませんでした。プランが私たちのコミュニティに来てくれなかったら、今の私はなかったでしょう」。

Dembe<sup>6</sup>、女性、22歳、ウガンダ、元チャイルド

「スポンサーシップが終了した後、私は勉強を続ける機会を失いました。残念です。教育は、家族とまともな生活を送るために重要です。私は十分に勉強をする機会を得ましたが、家の貧しさのために勉強を続けることができませんでした」。

Omar、男性、18歳、バングラデシュ、元チャイルド

6. 参加者の身元を保護するため、氏名はすべて変更されている。

若い母親は、娘に月経についての正しい知識を教えようと思っている、  
バングラデシュ  
©Plan International



## 健康

思春期の調査参加者に対し、一般的な健康状態を「非常に悪い」から「非常に良い」までの5段階で評価するよう求めた。

ウガンダでは、プラン・インターナショナルのコミュニティに住む思春期の若者が「健康である」と自己申告した割合は、他のコミュニティの若者よりも19%高かった。

バングラデシュとエクアドルでは、健康状態が良好であると報告されたが、プラン・インターナショナルの活動拠点とそうでない拠点との間に差はなかった。だが、質的調査結果は、3カ所とも健康に対するスポンサーシップの重要性を強調している。ウガンダとバングラデシュのインタビュー回答者は、プラン・インターナショナルが女の子の健康、特に月経衛生管理と栄養の改善に貢献していると述べている。

「私たちのコミュニティのスポンサーシップによって、地元の材料でナプキンを作るなど、適切な月経衛生を実践する方法を教えてくださいました」。

Joana、女性、16歳、プワロ、ウガンダ、元チャイルド

エクアドルとウガンダの保護者は、衛生設備、トイレ設備、安全な飲料水に投資することで、コミュニティの健康が改善され、特に疾病の発生を抑制・減少させることができたと述べた。その他の恩恵として、プラン・インターナショナルの介入後、信頼できる医薬品の供給や定期検診を受けられる一次医療施設へのアクセスが挙げられた。

「プランが来る前は、コミュニティには浴室がなかったです。衛生的な浴室がなかったのです。プランのおかげで、私たちは温水器を使って温かいシャワーを浴びることができるようになりました。コミュニティ全体で、飲料水の管理と衛生を学びました」。

Jose、男性、37歳、エクアドル、チャイルドである思春期の若者の保護者

プラン・インターナショナルの介入は、女の子の健康を改善し、一次医療をより利用しやすくし、コミュニティが病気を予防できるよう支援している。

空手を通じてジェンダースtereotypeを打ち破っている、  
15歳、バングラデシュ  
©Plan International



## エンパワーメント

エンパワーメントは、エンパワーメントに関する7つの記述にどの程度同意するかを参加者に尋ねることで測定された。バングラデシュのプラン・インターナショナルの活動するコミュニティの思春期の若者は、そうでないコミュニティの思春期の若者よりも、明らかにエンパワーメントのレベルが高かった。ウガンダのプラン・インターナショナルの活動するコミュニティでのエンパワーメントも、他のコミュニティよりも高かったが、バングラデシュと比較すると若干低かった。一方、エクアドルではむしろ、プラン・インターナショナルの活動する地域で、わずかではあるが低い得点が示された。

プラン・インターナショナルの活動は、女の子と女性のエンパワーメントに貢献している。女の子は、意思決定、スピーチ、リーダーシップのスキルを身につけ、それが彼女たちの生活をどう変えてきたかを述べている。

**チャイルドになることで、女の子は学校に通い続け、CEFMUやそれに続く早期妊娠を避けることができる。**

バングラデシュでは、プラン・インターナショナルの保育への投資を通じて女性の経済的エンパワーメントが強化され、母親が生計を立てられるようになった。エクアドルのコミュニティにおけるプラン・インターナショナルの活動により、女性の役割に関する伝統的な規範や考え方が変わりつつある。

「プランのおかげで、女性にも男性と同じ価値があると認識しました。現在では既に女性の専門家もいますし、女性も勉強しています。一方、以前は、女性は子どもを産み、動物の世話をするだけで、それ以上の価値はないと言われていました。それ以外の重要性はないと思われていたのです。女性が他の役割を担うとは信じられていなかったですし、リーダーシップや権威を引き受ける能力があるとも思われていませんでした。今はそれが変わりました...」

Iker、男性、55歳、エクアドル、  
コミュニティ・リーダー



大麦を粉にする女性、チンボラゾ州、エクアドル  
©Plan International



## 早すぎる結婚と 意図しない思春期の妊娠

インタビューでは、スポンサーシップ活動が、CEFMU や意図せざる思春期の妊娠の防止に関連していることが指摘された。その効果は主に、教育やエンパワメントの支援と関連していると見られ、子どもの保護に関する調査結果とも交差している。プラン・インターナショナルの活動は、家族と協力しながら、女の子のさまざまな未来を思い描いていく手助けをしている。



## 子どもの保護

子どもへの危害の報告に関する意識レベルは、3カ国とも総じて高かった。バングラデシュだけは、場所によって明確な違いが見られた。

プラン・インターナショナルが活動するコミュニティでは、91%超の思春期の若者が子どもへの危害の報告先を知っているのに対し、バングラデシュの他のコミュニティでは82%だった<sup>7</sup>。

「以前は何にでも『はい』と答えていました。『いいえ』と言うのが恥ずかしくて。何が良くて、何がいけないことを私たちは教え込まれました。今では『いいえ』と言うことができますし、恥ずかしく感じることはありません。以前は、『いいえ』と言ったら相手がどう反応するかを気にしていましたが、今は自分の安全を最優先にしています」

Anika、女性、20歳、バングラデシュ、  
元チャイルド

コミュニティ主導の子どもの保護活動は、家族向けの研修やプラン・インターナショナルの広範なコミュニティ・サービスを通じて、子どもの保護を強化している。ウガンダで、プラン・インターナショナルは、女の子に対する虐待の事例に対する法執行の改善に取り組んできた。保護者は、子どもの権利に関する知識を得ることで、子育ての仕方が改善されたと述べている。

「プランがここに来て、私たちの生活は変わりました。以前、姉は勉強することができませんでした。姉は12歳で結婚し、家に閉じ込められ、どんな活動にも参加できませんでした。一方、私はこれらのサービスをすべて受けることができました。プランが私たちのコミュニティに来なかったら、教育や絵を描くといったサービスを受けることができませんでした。私は早くに結婚していたでしょう」

Divya、女性、18歳、バングラデシュ、  
元チャイルドの思春期の若者



早すぎる結婚の悪影響について  
啓発するためのコミュニティ・ミーティング、  
ウガンダ

©Plan International

7. この差は統計的に有意ではなかった。



## 多面的貧困

調査チームは、食料安全保障、保健、教育、生活水準に関する情報に基づき、チャイルドを対象とした多面的貧困指数を用いた<sup>8</sup>。貧困は調査対象の3カ国すべての地域に影響を及ぼしている。バングラデシュのプラン・インターナショナルの活動地域では、比較対象地域と比べてはるかに高い多面的貧困率を示しており、他の地域の29%に対し48%であった。バングラデシュの支援対象地域における貧困の程度は、非常に深刻であるため、そこでの開発成果の改善は特に顕著である。他の2カ国では、有意な差は見られなかった。

**プラン・インターナショナルのプログラムは、貧困を緩和し、収入創出能力の開発を支援する。**

インタビューによると、プラン・インターナショナルのプログラムにより、3カ国すべてにおいて世帯の所得が向上した。食料品や燃料の購入、学費の支払いなど、間接的な経済的支援によって改善された場合もある。また、ウガンダとエクアドルでは、参加者が農作業のトレーニングを受けたり、畜産業を始めるための家畜を受け取ったりするなど、プログラムを通じて収入創出スキルを身につけることもできる。

「私の家庭はお金がなく、娘の教育費を捻出することができませんでした。今は、このスポンサーシップのおかげで娘に教育を受けさせることが楽になりました。今ではおいしい食事を食べています。娘の教育費に使われていたお金は、今は家計の他の分野にあてることができ、これでいくらか貯金もできるようになりました。娘の教育はこのスポンサーシップによって続けられているので、私はこのお金を他の分野に投資して、さらに収入を得ることができ、財産を増やして農地を購入することもできます」

Fatima、女性、45歳、バングラデシュ、チャイルドである思春期の若者の保護者



## コミュニティの結束

バングラデシュのプラン・インターナショナルが活動するコミュニティは、他のコミュニティよりも明らかに信頼度と結束度が高く、これはプラン・インターナショナルの長期的かつコミュニティ主導の取り組みによるものである可能性がある。しかし、エクアドルのプラン・インターナショナルが活動するコミュニティは、他のコミュニティよりも信頼度がやや低かった。ウガンダでは違いは見られなかった。

**プラン・インターナショナルが活動するコミュニティでは、協力体制の強化やジェンダーに基づく暴力（GBV）への対応など、前向きな変化が見られた。**

エクアドルのインタビュー回答者は、プラン・インターナショナルが地元の人びとに協力と共同体主義について啓蒙する取り組みについて、肯定的な意見を述べた。プロジェクトは、女の子や障がいのある人を含め、他者を尊重すること、早期の妊娠を避けることを子どもに教えている点で評価された。態度の変化は、社会的結束に役立っている。ウガンダでは、問題の非暴力的解決に関する意識向上が結束力を高め、女性に対するGBVの減少に役立っている。

8. この指標は、オックスフォード貧困・人間開発イニシアティブ（OPHI）が開発した多面的貧困指数に基づいている。

# 結論

「プランのスポンサーシップ・プログラムに参加していなかったら、私の人生は全く違っていただろう。プランのおかげで、よいことが起こりました。早すぎる結婚がなくなったので、学業を続けられるようになりました。以前、私は話すことができませんでした。きょうだいがあると、私は列の後ろに座っていました。今では人前でたくさん話すことができます」

Anika、女性、20歳、バングラデシュ、元チャイルド

本調査は、プラン・スポンサーシップがチャイルドやその家族、コミュニティの生活に具体的で前向きな変化をもたらす可能性があることを示している。プラン・インターナショナルやその他のプラン・スポンサーシップ実施団体にとって、重要な洞察がいくつかある。

第一に、この調査は、プラン・スポンサーシップの取り組みが、その状況に応じて異なる方法で、チャイルドの開発成果にプラスに寄与していることを示している。プラン・インターナショナルのスポンサーシップ活動は、その取り組み方や成果は異なるものの、調査対象となったそれぞれの状況において、チャイルドやそのコミュニティにプラスの影響を与えた。

第二に、規則的な通学や水と衛生設備へのアクセスといった重要な開発成果は、プラン・インターナショナルがコミュニティで活動する期間が長いほど上がるという調査結果が出ている。これは、成果の向上には時間がかかると考えられ、開発に長期的な提携姿勢を採用することを支持するものである。また、バングラデシュのプラン・インターナショナルが活動するコミュニティは、他のコミュニティよりも結束と信頼のレベルが高いという結果も、この取り組みを後押ししている。プラン・インターナショナルは地元のコミュニティ組織と協力し、多くのコミュニティ住民が活動に参加しているため、コミュニティ主導の開発の取り組みは、結束と信頼を高める可能性がある。



叔母の池の水汲みを手伝う  
幼い女の子、バングラデシュ  
© Plan International

**包括的な結論として、プラン・スポンサーシップという長期的な取り組みは、子どもとそのコミュニティにとって有益であり、継続されるべきである。**

プラン・スポンサーシップによって、NGOは開発に対する長期的なコミュニティへの取り組みを行うことができる。しかし、プラン・スポンサーシップのモデルは、開発を脱植民地化する動きとは相容れないと見なされることもある。国際NGOセクターは、開発の脱植民地化の過程にある。プラン・インターナショナルは、スポンサーシップの取り組みを含め、私たちのすべての活動を継続的に振り返ることが不可欠であると考えている。私たちは、反人種主義、反植民地主義の原則を、積極的かつ断固として遵守しなければならない。これは、現在進行中のNext Genスポンサーシップ活動の優先事項のひとつとなっている。

# 提言 とプランの対応

プラン・インターナショナルは、証拠に基づき、学習する組織として、「人生を変えるスポンサーシップ調査シリーズ」から得られた証拠を活用し、私たちの活動やスポンサーシップの取り組みに反映させ、改善することを約束する。この調査から得られた知見は、私たちのスポンサーシップ・モデルを刷新することを目的としたNext Genスポンサーシップ構想に活用される。以下の提言は、開発セクター全体でプラン・スポンサーシップ・プログラムの効果を高めるために提案されたものである。調査結果への対応の一部として、プラン・インターナショナル特有の行動ポイントも含まれている。



## 包摂

プラン・スポンサーシップの取り組みとモデルは、セクター全体にわたって包摂性の原則に基づくべきである。ジェンダー、障がい、民族性、年齢を含むあらゆる多様性を持つ子どもの交差するニーズに留意すべきである。

### プラン・インターナショナルの行動ポイント

職員の能力を高め、障がいのあるチャイルドのデータを可視化する努力を通じて、障がいのあるチャイルドの成果を向上させる。Next Gen スポンサーシップ構想の一環として、**反人種主義・反植民地主義**の原則と取り組みを組織全体に展開する努力を継続する。

## 教育

スポンサーシップを行う団体は、子どもの教育やジェンダー・トランスフォーマティブ教育のための資金調達に対する政府の支援、女の子の保健教育、特に月経衛生と栄養に関する教育を改善するための取り組みへの提唱活動を強化すべきである。

### プラン・インターナショナルの行動ポイント

プログラム部門や働きかけ部門と緊密に協力し、**教育**に関する政府との提携を改善し、プログラムにおいて月経衛生と栄養教育に取り組む方法を模索する。

## 持続可能性

組織は、プラン・スポンサーシップ・プログラムへのコミュニティの依存を減らすために、地方自治体やコミュニティとの提携を強化するなど、スポンサーシップやプログラムの取り組みをより持続可能なものにするに重点を置くべきである。

### プラン・インターナショナルの行動ポイント

地方自治体との連携を強化し、プランの「質に影響を与えるプログラムに関するグローバル方針」と整合性を図ることにより、スポンサーシップ・プログラムの**持続可能性**を確保するための取り組みを強化する。

---

## 調査

プラン・スポンサーシップを行う団体は、プラン・スポンサーシップ・プログラムが開発成果に与える影響を継続的に評価し、主要な開発成果に対するプラン・スポンサーシップの因果関係を証明するために、無作為化比較試験（RCT）という選択肢を探るべきである。



### プラン・インターナショナルの行動ポイント

「人生を変える スポンサーシップ調査シリーズ」の一環として**学びの旅**を続け、影響を実証し、子どもとそのコミュニティの成果を向上させる。

---

この調査から得られた知見は、スポンサーシップを今日の世界に適合させるためのプランの絶え間ない進化に寄与するものだ。プラン・インターナショナルは、私たちのスポンサーシップの取り組みを刷新し、最新のものにするための旅を続けている。私たちは、今ある最良のものを維持し、世界中の女の子とユースのためにより大きな効果を生み出せるよう、それを土台に発展させていく。

毎年開催される女の子のための運動ワークショップに参加する  
ユース女性、エクアドル。彼女はプランのスポンサーシップ・プログラムに参加し、  
幼い頃からプラン・インターナショナルの活動に関わっている

© Plan International

DON'T WORRY  
ABOUT THE RULES





## Until we are all equal

### プラン・インターナショナルについて

プラン・インターナショナルは、子どもの権利を推進し、誰もが平等な世界の実現を目指し85年以上にわたり世界80カ国以上で活動する国際NGOです。一人ひとりの子どもが本来持つ力を引き出すことで地域社会に前向きな変化をもたらされることを信じて、子どもや若者、さまざまなステークホルダーとともに活動しています。特に、貧困や暴力、差別や排除によって弱い立場に置かれている女の子の支援に力を入れています。

子どもや女の子たちが直面している不平等を生む原因を明らかにし、その解決にむけ取り組むことで、子どもたちが生まれてから大人になるまで寄り添い、自らの力で困難や逆境を乗り越えることができるよう支援します。

**誰もが平等な世界の実現にむけて、歩みを止めずに進んでいきます。**

### Plan International

International Headquarters  
Dukes Court, Duke Street, Woking,  
Surrey GU21 5BH, United Kingdom

T +44 (0) 1483 755155

F +44 (0) 1483 756505

E [info@plan-international.org](mailto:info@plan-international.org)

[plan-international.org](http://plan-international.org)

[facebook.com/planinternational](https://www.facebook.com/planinternational)

[twitter.com/planglobal](https://twitter.com/planglobal)

[instagram.com/planinternational](https://www.instagram.com/planinternational)

[linkedin.com/company/plan-international](https://www.linkedin.com/company/plan-international)

[youtube.com/user/planinternationaltv](https://www.youtube.com/user/planinternationaltv)

Design: Out of the Blue Creative Communication  
Solutions – [www.outoftheblue.co.za](http://www.outoftheblue.co.za)

Published in 2024. Text © Plan International

### 謝辞

この要約は、RMIT大学のSimon Feeny教授、Alberto Posso教授、Sefa Awaworyi Churchill博士、Samuelson Appau准教授が実施した調査に基づいている。

プラン・インターナショナルでは、Karin Diaconu博士とMartha Guevara博士が、Lucia Rost博士、Jacqueline Gallinetti博士、Isobel Fergus博士の支援を受けて調査を管理した。

本要約は、Lucia Rost博士、Martha Lucia Borrás Guevara博士、Anna Brownによって執筆された。

フィードバックと意見を提供してくれたプラン・インターナショナルの同僚に感謝する: Frank Schaeffiger、Danny Plunkett、Magdalena Bastidas、Kathleen Sherwin、Damien Queally、Jennifer Delgado、Juliana Pierossi、Ming Viado、Dana Kabani、Louise Meincke、Marianne Sondergaard、Carla Jones、Morten Lynge、Sandra Dudley、Gladys Rivera、Patricia Tobar、Judith Nakanda、Nova Schams、Tariq Ul Hassan Khan。

調査に参加してくれた現在および過去のチャイルドとその家族、そしてインタビューを実施したプラン・インターナショナルの職員とボランティアの皆さんに対し、感謝の意を表す。